アクト・アクセラレーター ウォッチ

# ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま



# 高所得国と低所得国の明暗分かれる

2021.09.22 資金 外交 声明・報告書 ワクチン 検査 治療 保健システム



(写真) スーダンにて、ワクチン接種の準備をする医療従事者 © UNICEF/UN0428091/Yeslam

## 第2四半期実績を公表

ACT-Aは、2021年第2四半期(4月~6月)の<u>活動報告書</u>を8月4日に公表しました。それによると、主な実績として、

- ①ワクチン9200万回分の供給
- ②検査キット8400万回分の調達

- ③3億1600万ドル分の酸素供給
- ④5億5400万ドル分の個人防護具供給
- ④3700万ドルの治療(デキソメタゾンを含む)の調達

などを挙げています。

報告書は、ワクチン接種を終え、経済回復の道筋が見えてきた高所得国と、ワクチン接種が進まない中、感染力の強い変異株によって感染がますます広がる低所得国という、明暗がはっきりと分かれる現状について指摘。「国際社会が、あちこちで感染が急増する差し迫った状況に備える中、新型コロナ感染症から命を救う医療手段(ツール)への不公平なアクセスはかつてなく明白となっている」と警鐘を鳴らしています。中でも検査、治療、個人防護具、医療用酸素などが多くの国で緊急に必要となっているとしています。

テドロス事務局長は「ワクチンの接種率を、9月末までに全世界人口の少なくとも10%、 年内に40%、来年半ばまでに70%とするWHOの目標に変わりがない。しかし実現までの 道のりはまだ遠い」と述べ、各国政府や国際機関に、より一層の協力を求めました。

### WHO がワクチン格差の是正を呼びかけ

世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長は8月18日の記者会見で、ワクチンの供給や接種をめぐる各国間の格差について、改めて懸念を表明しました。テドロス氏は、供給されたワクチンの75%がわずか10カ国で使われている一方、低所得国では人口の2%しか接種できていない現状を指摘した上で、未接種の医療従事者がいたり、感染者が急増したりしている国に対するワクチン供給を促すため、ワクチンのブースター接種(3回目の接種)の一時的な停止を呼びかけたことに言及しました。世界各地の専門家2千人に、ブースター接種に関するこれまでのデータをもとに議論してもらった結果、ブースター接種よりも前に、未接種の人に最初のワクチンを打つことが重要であることが分かった、としています。

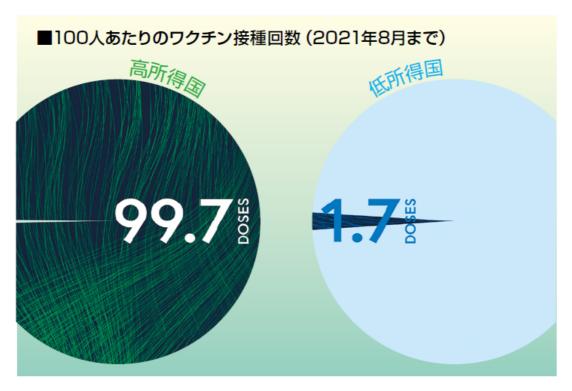
WHOは8月31日の声明で、ブースター接種は、通常の接種では十分に抗体がつくられない免疫不全の人には有効であり、この一時的停止の呼びかけの対象からは除外されるとしました。ただこのような免疫不全の人は少数であることから、ワクチンは、大多数を占める健康な人へのブースター接種でなく、まだ一度も接種を受けられていない医療従事者や高齢者などへの接種に回すべきであるとしています。米国食品医薬品局(FDA)やWHOなどの研究者も、医学誌『The Lancet 』で同様の見解を発表しています。

ワクチン格差の現状について、ACT-A事務局が発行している<u>『The Accelerator News</u> from ACT-A <u>』8月号</u>は「パンデミック(世界的大流行)で二つの異なる経験」という見出しで、8月までの人口100人あたりのワクチン接種数が、高所得国で99.7回分に上っているのに対して、低所得国では1.7回分に過ぎない、と指摘しています。

テドロス氏は「ワクチンをめぐる不公平は、全人類の恥といえます。私たちが結束してこの問題に向き合わない限り、数カ月で収束できる爆発的感染の急性期を長引かせることになります」と訴えました。

さらにテドロス氏は「先進国のリーダーや製薬企業が、低・中所得国へのワクチン供給を優先しない限り、『持つ者』と『持たざる者』の隔たりは広がる一方である」と指摘。南アフリカで瓶詰めされたジョンソン&ジョンソン(J&J)製のワクチンが、事実上、成人すべてがワクチン接種を終えている欧州に輸出されるという、ニューヨークタイムズの報道に「啞然としている」と述べました。その上でテドロス氏は、J&Jに対して、ワクチンにアクセスできている富裕国に供給する前に、アフリカへの供給を優先するように求めた、としました。

(『ACT-A WATCH』第3号より)



The Accelerator News from ACT-A 8月号の情報よりJCIE 作成

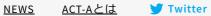
♥ ツイート

#### **NEWS**

2022.10.21	ACT-Aの外部評価を公表 おおむね高評価の一方、今後の教訓も
2022.09.30	パンデミックの終息に向け、3つのギャップ克服を グテーレス国連事務総長
2022.09.29	最もリスクの高い人々のための検査と治療へのアクセスがカギ ACT-A分
2022.09.28	ACT-Aの各分野、多くの国で目標からいまなお遠く
2022.07.11	G7サミット、COVID-19対策を議論 パンデミックに備える新たな金



<u>TOP</u>



JAPAN CENTER FOR INTERNATIONAL EXCHANGE 日本国際交流センター

〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番12号 明産溜池ビル 7F Tel.03-6277-7811 Fax.03-6277-6712

☑ <u>Privacy Policy</u>

©Japan Center for International Exchange (JCIE)